

NPO法人札幌チャレンジドの 就労移行支援・就労定着支援事業

find I +

[ファインディット]

パソコンを
使って
働きたい

人と関わる
力をつけたい

心づよく、力づよく、
「はたらく」へ踏み出そう。

親身な
サポートを
受けたい



NPO法人

ITでマサル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジド

技術とこころ、 ゆっくりしっかり エクササイズ。

札幌チャレンジの就労移行支援・定着支援事業には、
2つの大きな特徴があります。

一つは、**パソコンに関する技術を基礎からしっかり高められること。**

どの企業で働く上でも求められるパソコンスキルの習得は、あなたの可能性を大きく広がります。

もう一つは、**心地よい人間関係をつくる力が着実に身につく多彩なプログラム。**

講師やスタッフ、利用者仲間たちとの多様な関わりの中で、
違いを認め合い、自分の強みに気づく力が自然に培われます。

挑戦するあなたを二人三脚で支援し、後押しするのが私たちの役割。

技術とこころの両方を、ゆっくり、でもしっかりと高めた先で、次の未来を描きましょう。

支援の対象となる方

障がいのある方または難病等対象者で、企業への就職を目指す方

利用期間

最長24カ月(2年間)

利用料金

利用されている方のほとんどが、無料で利用しています。

※利用料(1割の利用者負担額)が必要ですが、所得に応じて軽減措置があります。市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料で利用できます。(世帯の範囲:ご本人および配偶者)



「札幌チャレンジ(通称・札幌チャレ)」とは？
2000年の発足時から25年にわたり、パソコン講習や就労・就職支援事業で、障がいのある方の自立をサポートしてきました。「ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創る」をミッションに、利用者一人ひとりに寄り添い、キャリアデザインを支援しています。

札幌チャレンジ 4つの特徴

1 就職率も定着率も高水準をキープ

就職率は全国平均を超える高い数字を維持。職場定着率も8割を超えています。



※一般企業・官公庁
※直近5年間で一般就職を希望した人の就職率
(令和7年3月現在)



※一般企業・官公庁
(令和7年3月現在)

2 50以上のプログラムを用意

50以上のオリジナルプログラムを、参加する方々に合わせてセレクトし実施しています。講師が対面で、理解度を確認しながら学びを進めていくのでわからないことが出てきても安心。丁寧なフォローが強みです。



3 プロの講師が指導を担当

講習はすべて、資格を持つプロが担当します。さまざまなスキルを学ぶことができるよう、専属講師に加え、外部講師によるプログラムも多数行っています。なお、常駐スタッフも全員、福祉分野の資格を保有しています。



4 指導実績25年。パソコンに強い！

私たちは、札幌で障がいを持つ方向けにIT分野の講習を行ってきた団体の先駆けです。初心者にはわかりやすく、上級スキルを求める方には専門的な指導を。25年のノウハウで、仕事に生きるパソコンスキルの習得を助けます。



専用施設

就労移行支援専用の部屋を用意しています。講習は最大10名と、少人数制で行います。



◀教室

メインの学びの場です。午前と午後のプログラムのほか、利用者の皆さんとスタッフが一堂に集まる「朝礼」でも使用します。座席は固定制です。学びに使うパソコンもこちらで保管しています。講習時には一人に1台貸し出しますので、自分のパソコンを持っていない方も安心して学べます。



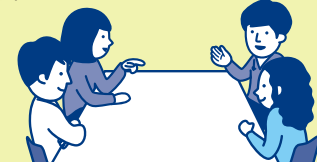
朝礼の様子

広い空間で、のびのび学べます!



▲実務室

利用者の皆さんが自由に過ごせるスペースです。休憩時間のリフレッシュ、お昼ごはん、読書や検定の勉強など、思い思いに使っていただいています。荷物などが置けるよう、利用者一人ひとりに、専用ロッカーも用意しています。



◀視覚PC室

視覚障がいのある方への指導はこちで行います。パソコンは読み上げ機能付きで、モニターも視覚障がいのある方に配慮した色設定となっています。



▲面談室

学びや就職活動に関することなどさまざまな相談を、プライバシーを守ってお伺いできるよう、面談室を設けています。周りを気にせず、ゆとり話することができます。



▲入ロドア

オープンしているのがわかりやすい、すりガラスのドアです。

利用開始から就職までの流れ

見学

施設内や学びの様子をご覧いただくところからスタート。スタッフが付き添ってご説明・ご案内しますので、わからないことや不安はお気軽にご質問・ご相談ください。



体験

利用開始前に、一度、プログラムを体験していただいています。利用開始を決めたら、区役所窓口での申請、当事業所での利用契約へと進みます。

- 体験内容 / パソコン講習、コミュニケーション講習、グループワークなど
- 体験期間 / 2〜4日程度(相談の上で調整)
- 曜日・時間 / 月〜金曜の10時〜16時(午前のみ、午後への参加も可能)
- 体験料 / 無料

司会は、その日の直が務めます

一日の流れ	
10:15〜	朝礼
10:30〜12:30	午前のプログラム ※途中、15分間の休憩あり
12:30〜13:30	昼休み
13:30〜15:30	午後のプログラム ※途中、15分間の休憩あり
15:30〜15:50	日報記入
15:50〜	終礼・掃除

プログラム

プログラムに人が合わせるのではなく、人に合わせてプログラムを提供する。それが私たちのスタイルです。常駐スタッフも、必要に応じプログラムに参加。学びをサポートします。

■パソコンスキルアップ講習

Windowsの基礎からOfficeソフトの応用までを実践的に学びます。毎回、前回の復習も行るので、知識や技術がしっかり定着します。

学習内容例

- パソコン講習(基礎〜応用)、Zoom、Word・Excel・PowerPoint(基礎〜応用〜実践)

参加者の声

礼チャレを利用しようと思った理由は、定期的な活動ができると企業に証明するためと、パソコン中心の訓練ができるから。Excel等は学校の授業以来で、かなりのことを忘れていたため発見の連続でした。幅広い講習が役立っています。(30代・男性)



■コミュニケーション講習

異なる考えを持つ人たちと協力して仕事を進めていくためには、思いやりと自信の両方が大切です。自分の心の声を知り、自分らしく生きるために役立つ力を身につけます。

参加者の声

講習はどれも好きですが、しいて挙げならコミュニケーション講習が好きです。毎回自分の知らない自分に気づくところが非常に勉強になっています。(20代・男性)



■グループワーク

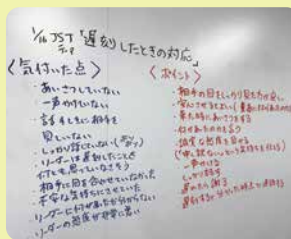
役割分担をしながらチームで協力してワークを進めます。毎回、違うテーマでワークを行います。

テーマの例

- 私の好きなもの、好きなことを話そう
- テレビとYouTube、どちらがいいかを議論しよう
- 新聞タワーをつくらう

参加者の声

ワーク「ほめ言葉のシャワー」でポジティブな言葉をもらい、前向きに就活に取り組みるようになりました。(20代・女性)



メイクアップ講習



近隣の散策などのレクリエーション

訓練開始

月〜金曜まで、当事業所への通いで、知識やスキルを学びます。プログラムは、午前と午後に、それぞれ1プログラムを実施します。

実績豊かな講師陣

パソコン講習やコミュニケーション講習は、専属講師が指導。心身の状態や、理解度に配慮して指導します。外部講師も、社会保険労務士、カラーコーディネーターなどプロが担当。知識やスキルを着実に身につけられます。



コミュニケーション
講習担当
土井敦子先生

コミュニケーションとは、自分も相手も大切にしながら心を交流させること。あなたは、自分の良いところをどれだけ知っていますか? 講座では「本当の自分」と出会うことを目的としています。自分の心を正直に認めたとき、本物の自信が生まれます。これを一緒に見つけていきましょう。

●プロフィール
カウンセリング・ムアサ代表 / 公認心理師 / 公立学校、短大スクールカウンセラー / 地域若者サポートステーション 相談員 ほか多数

資格取得学習

資格を取得して仕事に生かしたいと考えている方に向けて、検定対策講座を用意しています。

対策を行っている検定

■日商PC検定

仕事で使うパソコンスキルを証明するための資格です。Wordを使っての文書作成、Excelでの表やグラフ作成や業務データの処理、PowerPointでのプレゼン資料作成の、3分野の検定試験があります。

■サートファイ

パソコンやIT、プログラミングなど、仕事現場で役立つスキルを評価するための資格です。Wordで文章を作成する力を問う試験や、Excelでの表計算処理スキルを問う試験など、さまざまな種類の試験があります。

■日本情報処理検定協会(日検)の各種試験

仕事で役立つパソコンスキルを評価する検定です。

- | | | |
|------|-------------------|----------------|
| 試験の例 | ● 日本語ワープロ検定試験 | ● 文書デザイン検定試験 |
| | ● 情報処理技能検定試験(表計算) | ● 文章入力スピード認定試験 |



当事業所で資格・検定を受験できます

知らない場所での受験は、プレッシャーも大きいもの。当事業所は日商PC検定、サートファイ、日本情報処理検定協会(日検)など各種試験の認定試験会場となっています。また、模擬試験も実施しています。いつもの場所での受験は、実力を発揮する助けになります。

「通い慣れた場所だから安心して受験できる」と好評!



スキルアップ

就職活動に関する知識やスキルを身につけるほか、検定・資格取得にチャレンジ。スキルアップを図りつつ、就職活動に向けての準備を進めます。

就職活動に向けた訓練

就職情報を読み解く力や、必要な書類の作成方法、面接対策などを行い、就職活動の準備を進めます。

■求人情報の見方を学ぶ

求人情報で見るべき情報や、条件について学びます。

■社会保険について学ぶ

「健康保険」や「厚生年金保険」「雇用保険」「労災保険」など、企業で働く従業員を対象にした保険制度について学びます。

■履歴書・職務経歴書、自己PR書の作成

履歴書など、就職活動で必要となる書類の書き方を覚えます。スタッフが書類を添削して、丁寧にフィードバックします。

■面接練習

スタッフが面接官役を担当し、面接の練習を行います。

参加者の声

「自己分析」の講習で、自分の得意なこと、苦手なこと、それから自分ではわからなかった生きがい……そんなものまで見つけれられたような気がして、とてもうれしくわくわくした気持ちでいっぱい毎日です。(20代・女性)

就職活動準備

本格的な就職活動開始前に、企業見学や実習を行います。「企業で長くはたらく自分」を具体的にイメージし、就職活動へのはずみをつけます。

職場見学・実習

見学や実習で、働く現場を体験します。見学や実習は、自分でも気づいていなかった得意な仕事ややりたい職種を見つける貴重な機会でもあります。また、視野にはなかった企業の存在に気づくことができる出会いの機会にもなっています。実習期間は受け入れ企業により異なり、相談の上で決定します。



職場見学を受け入れた企業からの声

実習で自社も雇用体験ができたため、一緒に働くイメージをはっきりさせることができました!

実習期間は3〜5日ほどが多いです!



就職実績

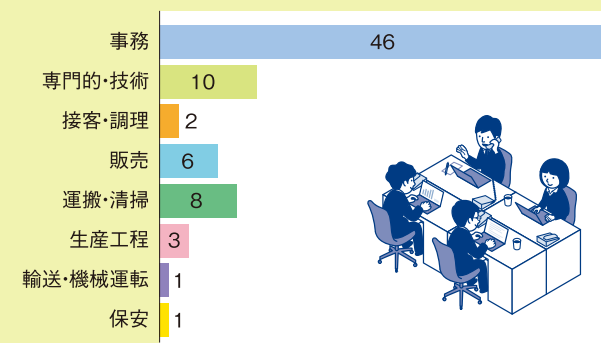
幅広い業界に就職実績があり、職種も事務を中心に多様です。就職支援で大事にしているのは、適性に合った仕事を選んでいただくこと。支援の質の高さや実績が評価され、企業側から当事業所に採用に関するご相談をいただくこともあります。

就職先の一例

放送局 / 大手プロバイダー / メーカー系システム企業 / 農業協同組合連合会 / 市役所 / 百貨店 / アウトソーシング企業 / 電気通信事業グループ企業 / 衣料品店 など



職種別就職実績(令和7年3月現在)



就職活動

多くの場合、1年〜1年半が過ぎた頃から就職活動をスタート。常駐スタッフによるハローワークや面接試験への同行サポートなども行っています。

就職

長く働き続けられるよう、就職後もサポートします。



就労定着支援

就職後、半年は就労移行支援事業の枠組みでサポート。その後は、就労定着支援事業として、最長3年間、サポートを続けます。企業や家族の間に立ち、働く上での困りごとや生活の不安の解消をお手伝いします。

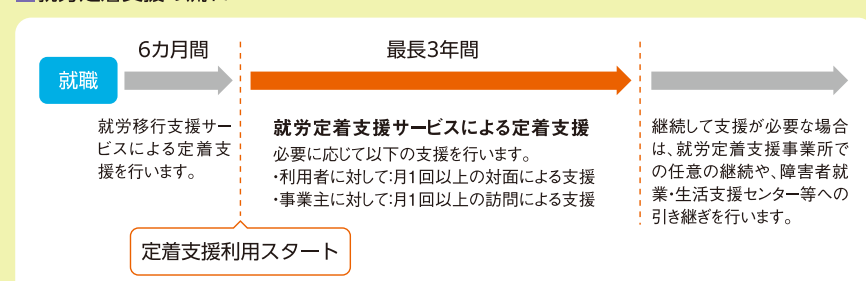
■就労定着支援のしくみ



就労に伴い生じている生活面の課題(生活リズム、体調の管理、家計の相談等)

【具体例】
・遅刻や欠勤の増加
・身だしなみの乱れ
・家の飲み忘れ等

■就労定着支援の流れ

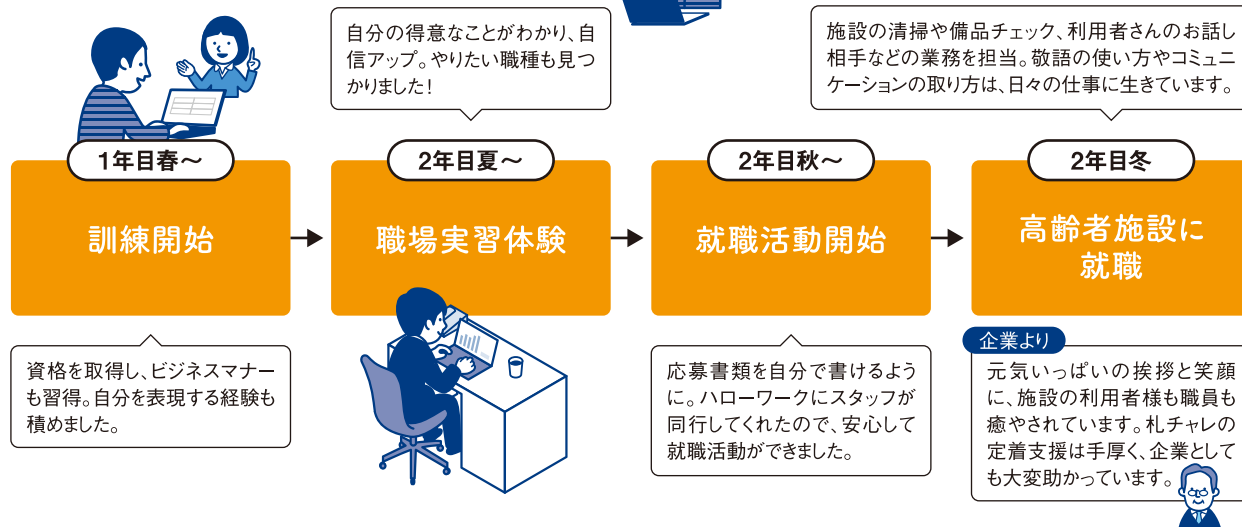


支援の対象となる方

就労移行支援等を利用した後、企業等に新たに雇用された障がいのある方で、就労を継続している期間が6カ月を経過した方。主に、礼チャレの就労移行支援を利用して就職した方が対象です。

対象期間 最長3年間

利用者Aさん(男性・20代・知的障がい)の場合



見学や体験の際によく寄せられる質問にお答えします。

支援に関するQ & A



Q 最初から5日間通えるか、不安なのですが……。

A 自分のペースでの参加から大丈夫。ご相談ください。

頑張りたい気持ちはあるけれど、いきなり5日間、連続で通うのはしんどい。そうした方もいらっしゃいます。大事なことは無理をすることではなく、自分のペースや体調の整え方をつかむこと。「週3日は通所、残りはオンライン参加」とするなど、できる限りの調整を行いますので、遠慮なくご相談ください。

Q 人と関わるプログラムは苦手です。参加しなければいけませんか?

A 「まずは見学」でOK。徐々にトライしていきましょう。

人との関わりが苦手なワークショップになかなか参加できない方には、見学での参加をおすすめしています。どんなことをするのか、どういう人が参加しているのかを知るところから始めましょう。強制はしませんが、少しずつトライしてもらえよう、スタッフもサポートします。

Q お弁当は出ますか?

A お弁当はありませんが、昼食代の補助があります。

1日400円の昼食代補助を用意しています。電子レンジがありますので、コンビニで買ったお昼をあたため、食事をしている方が多いです。

つながりはずっと 交流会や同窓会も 行っています

利用者仲間の交流会や、卒業した方が集まる会など、イベントも定期的に開催しています。

利用中の方向け 夏の交流会

札幌チャレンジの全利用者向けの交流会で、毎年50人ほどが参加しています。ビアガーデンでジンギスカンを食べたり、ジュースやお酒を飲んで楽しめます。



卒業した方向け 茶話会

春と秋に、就労移行支援を卒業した皆さんとスタッフとの食事会を開催。自己紹介やゲームを交えつつ、交流を深めています。毎回、近況報告に花が咲く、楽しい会です。



NPO法人 ITでマサル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジ

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1北苑ビル 2階

北七条郵便局がビルの目印です。ビルのエントランスを奥へ進むとエレベーターがありますので2階に上がってください。エレベーターを降りて直進し、廊下に出たら右へ進むと、就労移行支援スペースがあります。



●見学・体験のお問い合わせはお気軽に

011-769-0843 (代表)

011-769-0986 (直通)

営業時間：月～金曜 9時30分～17時30分

メールでのお問い合わせはこちらから

